

保険料の引き上げ抑制、介護サービスの維持を 介護保険運営協議会が介護保険事業計画等で答申

上越市介護保険運営協議会（黒木瑞雄会長）は7日、市の第4期介護保険事業計画及び第5期高齢者福祉計画の策定について市長に答申しました。（写真は木浦市長の前で答申書を読み上げる黒木会長）

答申内容は、「第4期計画期間における介護保険料について」と「第4期介護保険事業計画・第5期高齢者福祉計画（案）」としてまとめられています。

施策の基本方向としては、①介護が必要となった時に誰もが必要なサービスをうけることができるために、**介護基盤整備の計画的な推進**をはかる、②介護が必要とならないよう誰もが健康で安心して暮らすことができるために、**高齢者保健福祉の総合的な推進**をはかる、③介護が必要となっても個性を生かしつつ生活を楽しむことができるように、**人権を尊重する介護の制度的な推進**をはかること、この3つを打ち出しました。



注目の介護保険料については、3つの点に留意して適切な保険料設定をするよう求めました。その一つは、国の制度改正をふまえて、**税制改正に伴う介護保険料激変緩和**

措置の終了に対応するとともに、本人の負担能力に応じた段階設定を可能にする保険料の弾力化を実施することです。二つ目は、低所得者に配慮した保険料設定です。三つ目は、保険料の引き上げをできるだけ抑制するとともに、介護サービスの低下を招かないよう配慮することです。

答申を受けた木浦市長は、5回に及ぶ審議をしてきた協議会委員にたいして感謝の意を表明したうえで、「貴重なご意見としてしっかりと受け止めさせていただいて、上越市の計画案をまとめさせていただく」とのべました。

梶地内に複合型介護施設建設

年末に行われた吉川区地域協議会で総合事務所は、梶地内で通所介護と短期入所サービスをを行う施設の建設計画が進んでいることを明らかにしました。

これは上越市社会福祉協議会（橋本真孝会長）が進めているもの。計画によると、建物は一部二階建てで350坪。おもに、通所介護（定員30人）、短期入所（定員20人）サービスを提供する場となります。

すでに入札の公告がされ、2月中旬には入札が行われ、その後、着工。来年4月にはオープンが予定されています。

同協議会では、この施設を単なる介護施設ではなく、地域の高齢者、障

がい者、児童などが自由に利用できる地域サロンにもしたいとしています。

通所介護の充足率（在宅認定者100人当たり定員数）は吉川区では13・5%であり、上越市全体の20・5%を大きく下回っています。また、短期入所サービスの充足率（在宅認定者100人当たり定員数）も4・2%で、上越市全体（7・1%）を下回っていますので、今回の複合施設の建設でサービス充足率は改善されるはず。ぜひ頑張ってくださいね。



正月になっても雪の少ない状況が続いています。頸城区鶴の木でスイセンの花を見かけました。4日撮影。

ちなみに、同施設の開所にもない、新たな職員の雇用も計画されています。二つのサービスを計画されている規模で提供する場合があります。職員配置数は、職種別にみると、生活相談員3名、看護員3名、介護員17名、調理員3名となります。

25日に議員定数問題で市民の皆さんの声を聴く会

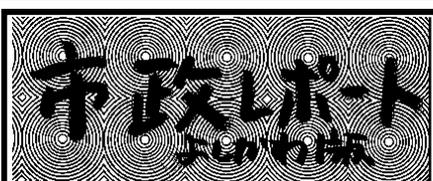
市議会の議員定数検討委員会は25日午後1時から希望館で皆さんの声をお聴きします。



これは便利

ヒラタケがおいしい季節です。高いところにあるコケを釣り道具を使って採ると楽だと教えてもらいました。

（写真は源地区で8日撮影）



NO 1379
2009.1.11

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/